

日本語日本文学（国文学）

◇教員◇

教授：長島弘明 藤原克己 渡部泰明 安藤宏 鉄野昌弘 高木和子

助教：高木周 林悠子

◇学生◇

学部：44名、修士課程：17名、博士課程：18名

Q：まず、国文学とは何かを教えてください。

A：私たちはさまざまな情報に取り囲まれて生きていますが、確かに自分で見たものを、本当に自分の頭で考えたと言い切れる事柄がどれだけあるでしょうか。本物（これを第一次資料という）を見て、予断を排して思考をめぐらすのが研究の基本ですが、これを日本語で書かれた文献をめぐって行おうとするのが、国文学です。対象としては漢文や英文が入ることもあります。日本語だけで済むわけでもありません。

Q：「書かれた文献」といってもずいぶん範囲が広いと思いますが。

A：記紀・万葉から現代文学までの文学作品が主たる対象ですが、それにとどまらず、幅広く理解してもらっていいでしょう。演劇や絵画や音楽なども対象となり得ます。研究の方法も、とても一口には言えないほど多種多様です。でも、あくまで文献を基本とする、というのが国文学研究の最大公約数だといえるでしょうか。「本物」の文献が、身近に大量に存在するのが、何ととっても国文学の特色であり、強みですからね。ちなみに、国文学研究室には、文化財クラスの貴重な写本・版本を含め、和本が数多く所蔵されていて、学生は手続きさえ踏めば、驚くほど簡単に閲覧することができますよ。

Q：それが、他にはない本郷の国文の特色ということでしょうか？

A：もちろん、所蔵書だけのことではありません。そうした書物を活用しながら、今風のファッションナブルな議論に目を奪われたり、マスコミ受けする大風呂敷な物言いに踊らされたりすることなく、じっくりと腰を据えて本物の文献を読み込む環境を確保している、という所を強調したいですね。

Q：本物の文献を読む、といってもどう読めばよいのでしょうか？

A：そのために、進学者には、まず日本書誌学概論という、必修の集中授業が用意されています。講義に加え、研究室所蔵の和本を実際に手に取ることを通して、古典の書籍の扱い方の基本を学んでもらいます。また、演習では、個別の作品によりながら、その表現の成り立ちや意義をできるかぎり細密に分析することによって、「本物」を読む訓練を行っていますから、楽しみにして下さい！

Q：演習では、どういう授業が展開されているのでしょうか？

A：演習は6人の専任教員全員が開講していて、基本的に学生の報告をもとに、討議形式で行われます。それでは、それぞれの先生に、自己紹介を兼ねて各自の演習や講義の授業を簡単に宣伝してもらいましょうか。ちなみに、国文学史は通常、上代・中古・中世・近世・近代（現代）の5つの時代に分けられますが、各時代にひとりずつの担当教員と、さらに和漢比較文学を担当する教員が一人います。

鉄野昌弘教授（上代）

「日本」という国が立ち上げられたころの「文学」、つまりは「日本」最初の「文学」を主に扱っています。この頃は、まだ日本語専用の文字が無い時代です。それは未開ということでもありますが、漢字というツールで東アジア全体がつながっていたとも言える。そのような国際的に開かれた中で、日本語話者たちが何を作って行ったのか、という観点から、上代文学を見たいと思っています。

高木和子教授（中古）

『源氏物語』を中心に、平安時代の物語や日記や和歌などの仮名文学について研究します。高校の古文の教材の大半は平安文学ですから馴染み深いことと思いますが、大学での古典文学研究には高校では経験できなかった方法的な発展があり、これまでの印象は一変するはずで、古文は苦手だったという人にも、知的遊戯の場として参加してほしいものです。

渡部泰明教授（中世）

個人的な専門は平安・中世の和歌文学ですが、授業では中世、すな

わち鎌倉時代・室町時代の文学を幅広く取り上げようと思っています。宇治拾遺物語、平家物語、徒然草、新古今和歌集などですね。言葉一つ一つにこだわりながら、それが当時の人間観・世界観とどう結びついているか、皆さん一人一人に調べ、考えてもらうことを重視しています。

長島弘明教授（近世）

江戸時代の文学、芭蕉・西鶴・近松や、秋成・蕪村・馬琴などが専門です。高校では、江戸文学すなわち『奥の細道』ということになるので、あの程度の作品は（芭蕉さん、失礼）、他にも無数にあります。ただし、江戸文学の面白さを読み味わうには雑学の大家になることが必要。演習も雑学涵養の場となることがしばしばです。

安藤宏教授（近代）

明治以降の近・現代文学を担当しています。近代小説の表現機構を中心に研究を進めています。演習ではここ数年、毎週一作品を原則に、できるだけさまざまな作家を採り上げてきました。それをきっかけに近代文学全般にわたる読書の幅を広げて、表現史的な問題意識を養って欲しいですね。

藤原克己教授（和漢比較文学）

古代から近代初期まで、日本文学はいかに中国文学を受容してきたかということ、みなさんと一緒に学びたいと思っています。J・L・ボルヘスの「私が学生たちに教えてきたのは、いかにして文学を愛するか、いかにして文学の中に一種の幸福を見出すかということなのです」（野谷文昭訳）という言葉をもットーにしています。

Q：他にはどんな授業がありますか？

A：専任教員が覆い切れない分野を、毎年2～3人の非常勤講師を招聘して講じてもらっています。毎年交代するけれど、いずれもその道の第一人者、最先端の研究者ばかりです。

また6人の専任教員全員で、いわゆるオムニバス形式の講義「総合日本文学研究」を開講しています。これは毎年統一テーマをきめていて、

2014年度のテーマは「共同性」、2015年度は「韻文と散文」、2016年度は「日本文学における〈性愛〉」でした。

Q：他の学部のような、ゼミはないのですか？

A：文学部には、一人の学生が一つのゼミに所属するという制度はありません。複数のゼミ形式の演習に参加しながら、できるだけ幅広く学んでほしいと考えています。しかし、研究室にはゼミに劣らない親密な雰囲気がありますよ。

Q：卒業論文は必修ですか？

A：必修です。これは、ぜひとも納得のいくものを書いて卒業してほしいですね。研究者になるわけでもないのに、と思う人もいるかもしれませんが、本当に自分の手で調べ、自分の頭で考えたことを綴ってゆく喜びと苦しみを経験することは、社会に出ても必ずや意味をもつと信じていますよ。

Q：卒業論文で、村上春樹や吉本ばなななどを題材にしてもいいんですか？

A：これは現代文学研究に限らないけれど、国文学では一つの言葉や表現がどういう経緯で存在しているか、ということを重視しています。だから、同時代のさまざまな言説はもちろん、そこへ至る歴史的な流れをなにより大切にしています。一つの言葉を考えるにも、さまざまな調査・分析が必要です。現代文学でいえば、近代文学の流れをトータルに見返すことが要求されるでしょうね。つまり一番大変だ、ということになりますが、その覚悟さえあれば、かまいません。

Q：指導はしてもらえるのでしょうか？

A：教える情熱は教員みなあふれるほど持っているし、場合によっては個別にじっくり話をすることもあるけれど、手取り足取りなどという指導は期待しないでほしいですね。親切すぎる指導は、主体性・自主性を奪うという意味でかえって不親切になることもあります。もちろん、そちらから問題意識を持って質問に来れば、できるだけ丁寧に答えますよ。ただし、突然ではなく、予約をとってください。先輩を活用するという方法もあります。国文学研究室には、大学院まで含めると、教員・学生・研究員・研究生・外国人研究生を合わせて100名を超える人達が所属しています。さまざまな専門の人がいるから、その中で目星をつけて教えてもらうのもいいでしょう。教員の資格を持つ人が

多いこともあって、みな教えることが大好きです。私自身、先生に教わったことより、先輩や同級生に教わったことの方がはるかに多いなあ。そういうチームワークの良さも、わが研究室の美点の一つですね。

Q：研究室の様子を、教えてください。

A：法文2号館の3階と4階にいくつかと、法文1号館1階に一つ4階に二つの部屋があります。すべて書庫をかねていて、窓以外全部本で埋まっている光景は、ちょっと壮観ですよ。中心となるのは、3階の三四郎池を見下ろす研究室で、ここに助教の高木さん、林さんと事務補佐員の神さん、小高さんが常駐していて、学生院生に図書の出納や鍵の受け渡しなど、いろいろ便宜を図ってくれます。とくに助教は身分は教員ですが、学生と教員の橋渡しをしてくれる、研究室の要の存在です。住所変更など、いろいろな連絡は常時助教と取るようにしましょう。研究室の活動にもさまざまなものがあるが、国文の特色が出ているものとしては、学科旅行でしょうね。毎年秋に1泊2日で教員全員と学生が、文献資料を調査したり、文学遺跡を実地踏査したりします。2012年度は小布施、2013年度は鎌倉、2014年度は箱根・熱海、2015年度は伊香保・前橋、2016年度は山梨へ行きました。

Q：大学院への進学は難しいのですか？

A：毎年3～7名の学部生が、大学院に進学しています。他大学からの受験者も多く、競争率も低くはありません。首尾よく修士課程を修了し、博士課程に進み、博士論文を書き上げて博士号を取得したとしても、研究職への就職は簡単ではありません。しかし、研究職への就職も、高等学校の国語科教員への就職も、他大学に比べればだいぶ恵まれています。ですから、大学院進学を考えている人には、まず教員免許状を取得しておくことを強く勧めます。大学教員の公募では、実際に教育現場に立ったことがあるかどうか問われるので、その際には高校の非常勤の経験が役に立ちますので、やはり教員免許状は必須でしょう。中学・高校一貫教育の学校も増えているから、中学校の免許も必要ですね。逆に、教職や出版関係に就職したい人は、もちろん学部卒業後すぐという道もありますが、修士課程を出ておくと色々な意味で有益でしょうね。ただ、モラトリアムで大学院に進学するのはあまり勧められません。そのくらいなら、どんどん実社会に出ていくことをお勧めします。末尾にまとめて記した通り、一般企業に就職して活躍し

ている先輩もたくさんいます。日本の文化を一つでも専門的に学んでおくことは、将来ビジネスや政治の世界でもきっと役に立つでしょう。とくに海外で仕事をする際には、日本のことを必ず尋ねられますよ。

Q：文章を書くことが好きなのですが、国文で勉強して作家を目指すことはできますか？

A：創作方法を教えるような授業はないから、それは自分で勉強することになります。国文の卒業生の中から大勢の作家が出ていますよ。例えば、中勘助や堀辰雄、川端康成などという昔の卒業生は誰でも知っていますよね。その他にも、舟橋聖一、阿川弘之、杉浦明平、大岡信、宇野鴻一郎、橋本治などという人たちもいます。

Q：外国人に日本語や日本文学を教える仕事にも興味があるのですが。

A：最近はそのような仕事も増えているし、国文には外国人の留学生が常に10人から20人位いて、接する機会は非常に多いです。そうした方向を目指すためにも、英語や他の外国語の学習も、しっかりやっていたほしいですね。

Q：最後に、駒場の進学予定者に望むことは。

A：とにかくたくさん本を読んでおいてほしい、ということでしょうね。秋に行われる進学内定者のガイダンスの時に読んでおいてもらいたい本のリストを配布するので、参考にするといいでしょう。狭い視野やこわばった思考の中に閉じ込められないでほしい。そして、いつも好奇心を溢れさせていてほしいものですね。

皆さんと一緒に、研究したり議論したりできる日が楽しみですね！

2016年度卒業生進路

フロムスクラッチ、バンダイナムコエンターテインメント、日本レコード・キーピング・ネットワーク、農林中央金庫、集英社、アヴァンザ、芳文社、久月、コンベンションリンケージ、住友商事、三井住友銀行、東京都庁、河合塾マナビス、関西テレビ放送、47株式会社、シンメトリック、福岡県庁、三井住友信託銀行（以上各1名）、大学院進学（4名（うち他研究科2名））など

2015年度卒業生進路

DNPメディアクリエイティブ、ドリームインキュベータ、NTTコムウェア、HARIO、

吉本興業、レイス、第一生命保険、三井住友カード、JAC リクルートメント、神戸市役所、パソナキャリア、集英社、自営業（漫画家）（以上各1名）
大学院進学（1名）など

2014年度卒業生進路

NHK キヤノン かんぽ生命 三井住友銀行 サンケイビル 河合塾マナビス 筑波大学 川口市役所 中日新聞社、ボルテージ フリップアップ リクルートキャリア CAPCOM（以上各1名） 大学院進学（4名）など

2013年度卒業生進路

NHK文化センター LIXIL 日本たばこ産業 コーエーテクモ リクルートキャリア KADOKAWA（以上各1名） 大学院進学（7名）など

2012年度卒業生進路

ソフトバンクモバイル 三井住友銀行 鷗来堂 東京都庁 メンバーズ信山社 本田技研工業 アライドアーキテクト 電通 産業経済新聞 伊藤忠丸紅鉄鋼 本郷学園（非常勤） 光通信 映画助監督（以上各1名）
大学院進学（6名（うち他研究科1名））など

2011年度卒業生進路

読売新聞 府中市役所 東京海上日動火災保険 第一生命保険 鹿島建設 本田技研工業 三菱商事 京王ストア 日本芸術文化振興会 フロムソフトウェア レバレッジズ 安田屋 EMC（以上各1名） 大学院進学（4名（うち他大学法科大学院1名））など

2010年度卒業生進路

川西市役所 野村総合研究所 電通 住友商事 第一生命保険 講談社 東京書籍 光村図書出版 東京研文社 光通信 クオール 臨海セミナー アビームコンサルティング 楽天 リクルート 文筆業（以上各1名） 大学院進学（3名）など